

1. 開く DM

図郭レコード(d)(e)(f)の組が複数あり、途中の図郭レコード(3)のメートル未満の端数がある場合、最後の組の端数がゼロでも途中のレコードの端数がそのまま残って、DMの標示位置がずれる問題を修正しました。

例えば、

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1 番目の図郭レコード(d)(e)(f)の組 | レコード(e)の端数=0 |
| 2 番目の図郭レコード(d)(e)(f)の組 | レコード(e)の端数≠0 (日本測地系から世界測地系へ) |
| 3 番目の図郭レコード(d)(e)(f)の組 | レコード(e)の端数=0 |

という構成の場合、2 番目の図郭レコードの端数がそのまま図郭の端数として、表示される問題がありました。

国土交通省公共測量作業規定の DM を開く際に、点(E5)について、要素レコードの「属性数値」が「0」で、三次元座標レコードがない場合、2次元の要素としてリードしていました。

点(E5)が「ランダムポイント(7511)」について、属性数値が 0 以外と 0 の点(E5)が混在する場合、0 を標高値=0.0m として、3次元の点としてリードするようにしました。

2. インポート DXF

オプションメニュー[ファイル]-[インポート DXF]の「地図情報レベル」に「2500(XY座標はmm)」を追加しました。

「2500(XY座標はmm)」を追加しました。



「2500(XY座標はmm)」DMの地図情報レベルは2500ですが、図郭レコード(b)の「座標値の単位」を「1」つまりミリメートルにします。DMの座標はmmで記録されることになります。

3. チェックリスト保存 NIF2

メニュー[ファイル]-[チェックリスト保存]-[チェックリスト保存(NIF2)]に「OK項目を出力しない」を追加しました。

